

ふだんの活動に
プラスON
交通安全・防犯協働事業

2023年度
実施報告書

2024年1月

編集 町田市地域活動サポートオフィス

ふだんの活動にプラスON 交通安全・防犯協働事業 実施報告

「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」は、地域で活動するみなさまが、ふだんの活動に交通安全や防犯をプラスONした企画を実施する事業です。実施にあたっては、町田市市民生活安全課からの委託を受け、町田市地域活動サポートオフィスが支援を行いました。

◆事業実施数16件(22回※1団体複数回の実施をカウント)

◆事業実施期間

2023年9月～12月

(9/21～30「秋の全国交通安全運動」の期間中及びその前後、10/11～20「全国地域安全運動」の期間中及びその前後、12/1～7「TOKYO交通安全キャンペーン」の期間中及びその前)

◆事業の目的・大切にしたいポイント

「WIN-WINの企画実施」

- ・実施団体:本事業に参加することで、新たなプログラムの導入、広報の実施、今まで行ったことがない場所での実施など、活動の幅を広げるチャンスを得る。
- ・町田市市民生活安全課:団体と協力することで普段アプローチできない方の交通安全・防犯の意識向上を実現でき、安全安心のまちづくりを推進する。
- ・町田市地域活動サポートオフィス:プラスON事業のサポートを通じて、町田市地域活動サポートオフィスのビジョンである市内団体の活性化の達成や市内団体とのネットワークづくりを実現する。

◆スケジュール

- ・2023年4月～ エントリー受付開始
- ・2023年9月～12月 事業実施
- ・2024年1月27日(土) 実施報告会開催(町田市役所2階市民協働おうえんルーム)

◆実施報告ホームページ

各団体が実施した事業の報告を町田市地域活動サポートオフィスホームページに掲載した。

【まとめ】「ふだんの活動に”プラスON” 交通安全・防犯協働事業」

(以下のURLおよび二次元バーコードよりご覧いただけます)

https://machida-support.or.jp/report/performance/pluson_all_2023/



2023年度 参加団体一覧

番号	開催日	団体名	交通安全/ 防犯	実施事業題目
1	9/2(土)	TENT成瀬	交通安全	ツナガルナルセビアガーデン×交通安全謎解きクイズ
2	8/4(金) 事前勉強会	小山田桜台地域交流スペースよりみち広場	防犯	特殊詐欺撃退セミナー (事前勉強会8/4(金)、チラシ配布会9/16(土))
	9/16(土) チラシ配布			
	9/30(土) セミナー			
3	10/8(日)	高瀬住宅自治会子ども会	防犯	高瀬祭みんなで考える地域の防犯
4	10/10(火)	寺子屋ごはん	交通安全	寺子屋ごはん交通安全プチ講座&オリジナル反射ステッカー
5	10/20(金)	オンラインサポーターまちだ	防犯	STOP! 特殊詐欺 自分の身は自分で守るスマホ編
6	10/21(土)	まちだみんなのモビリティネット	交通安全	モビあるきで交通安全
7	10/22(日)	みんなの居場所陽だまりカフェ	防犯	特殊詐欺攻略セミナー・特殊詐欺防止記事入りパンフレット作成
8	11/4(土)	TENT成瀬	防犯	ツナガルナルセ青空市×防犯謎解きクイズ
9	11/8(水)	南大谷小学校父母と教職員の会	防犯	防犯ミニレクチャー & 110番の家ウォーク
10	11/10(金)	町田国際交流センターにほんご教室	交通安全	やさしい日本語教室で学ぶ外国人の方向け反射材周知
	11/14(火)			
	11/17(金)			
11	10/6(金) 事前勉強会	鎌倉古道・歴史遺産の会	防犯	鎌倉街道探索ウォークイベントで「ながら防犯」周知/事前勉強会
	12/9(土) イベント			
12	12/11(月)	NPO法人コミュニティフレンド	交通安全 /防犯	大人の学び舎悠々学園「高齢者のための交通安全&特殊詐欺講座」
	12/14(木)			
13	12/12(火)	高齢者共生の会	防犯	「貴方を特殊詐欺から守るセミナー」
14	12/16(土)	図師町内会	防犯	図師町内会年末防犯対策事業「自分たちの地域を見直す防犯講座」
15	12/21(木)	NPO法人ゆどうふ	交通安全	わらしバワーク自転車交通安全ミニ講座
16	12/28(火)	南大谷子どもクラブMOこもこ	交通安全	冬休みの交通安全講座～交通安全のお話しとオリジナル反射缶バッジ作り～
16件	22回			

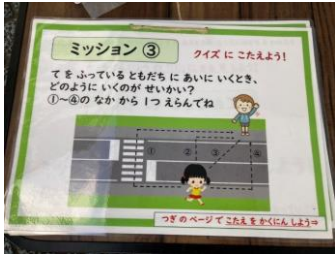
1 ツナガルナルセビアガーデンx交通安全 交通安全 謎解きクイズ

団体名：TENT成瀬	プラスON 子ども向け「なぞときクイズ 取り組み：ズ」を交通安全テーマで実施
開催日：2023/9/2(土)	参加者：3歳～15歳の子ども88名とその保護者

実施概要：
成瀬駅前広場で定期開催されるイベント「ツナガルナルセ」では、子ども向けの「なぞときクイズ」を実施している。9月の「なぞときクイズ」では、秋の交通安全運動に合わせて交通安全クイズを導入し、参加する子どもに交通安全を啓発した。また、映像教材や啓発標語の会場内掲示も行った。全てのクイズを解き終えた子どもに、交通安全グッズとお菓子の景品を配布した。啓発効果の検証を目的に意識調査が実施された。担当者が詳細を別紙にまとめ、レポートにした。

感想・参加者の様子等：
▶今後の展望として、本企画内容を参考にしながら別の安全教育のテーマでも啓発活動を行っていききたい。
▶親子・子ども同士が教え合いながらクイズを解く姿が印象的だった。

サポートオフィスより：
クイズコーナーと回答用紙に工夫が凝らされていて、子どもたちが楽しそうに回っているのが印象的でした。最後に「子供向けアンケート」を実施することで、内容の復習ができた点も良いと思いました。



2 「特殊詐欺撃退セミナー」 防犯 (事前勉強会、啓発パンフレット作成)

小山田桜台地 団体名：域交流スペースよりみち広場	プラスON 主要メンバーの勉強会、セミナー実施、パンフレット作成
開催日：2023/8/4(金)、9/16(土)、9/30(土)	参加者：19名(講師陣4名、スタッフ5名、住民参加10名)

実施概要：
小山田桜台地商店街の中にある「よりみち広場」の運営メンバーで特殊詐欺の事前勉強会を実施。その内容を元にして、よりみち広場を広報する三つ折りパンフレットの一面に特殊詐欺啓発文を掲載。また、広く住民にも聞いてもらいたいと考え、セミナーも企画。セミナーチラシをパンフレットとともに小山田桜台全1400戸へ配布した。当日は近隣の駐在警察官にも声をかけ参加してもらい、地域の具体的な事例などもお話しいただいた。

感想・参加者の様子等：
▶具体的な事例などと共に、どう対処するのが良いか等、実践的な質疑応答があり、大変刺激的で身に染みるセミナーでした。
▶多くの方々に聞いていただきたい内容なので、今後も機会があればセミナーを開きたい。

サポートオフィスより：
よりみち広場のようにふらっと気軽に相談できる場所が特殊詐欺の防止に繋がります。事前勉強会でスタッフの皆さんが熱心に話を聞かれている姿が印象的でした。広報と詐欺対策の啓発の両方を兼ねたパンフレット作成の取り組みはプラスON事業ならではのと感じました。



3 高瀬祭みんなで考える地域の防犯 防犯

団体名：高瀬住宅自治会子ども会	プラスON 自治会祭にて特殊詐欺といかのおすしの話を企画実施
開催日：2023/10/8(日)	参加者：80名(うち子ども18名)

実施概要：
子供向けには「いかのおすし」の紙芝居と防犯クイズを3問実施。いかのおすしの絆創膏とお菓子をプレゼントした。大人向けにはスライドにて、町田市内で特殊詐欺の現状や対策を紹介し、自治会長よりクイズを実施した。また、自治会内で特殊詐欺未遂の被害に見舞われた住民から、その時の体験談を伺った。参加者には、特殊詐欺予防のトイレットペーパーを配布した。

感想・参加者の様子等：
▶来年就学する子どもたちが特に興味を持って見ていたのが印象的だった。
▶身近な自治会内の住民からの体験談であったので、普段TVで観たり聞いたりするよりも、現実味があつたといった感想を伺った。
▶思ったよりも準備が簡単であったので、またやってみようと思った。次年度は小学生がもっと参加しやすい環境や内容を検討していきたい。

サポートオフィスより：
防犯のテーマで子供向け・大人向けと2つの企画を同時に実施された唯一の団体でした。自治会のお祭りという多世代が集まる機会ならではのですね。特殊詐欺体験談は地域の信頼関係のなかだからこそ、貴重な機会だったと思います。



4 寺子屋ごはん交通安全プチ講座&オリジナル反射ステッカー 交通安全

団体名：寺子屋ごはん	プラスON 子ども食堂開催日に交通安全講座を企画実施
開催日：2023/10/10(火)	参加者：子ども15名、大人10名

実施概要：
紙芝居形式の〇xクイズで道路の飛び出しの危険、横断歩道や交差点前の一旦停止や左右の確認などミニ講座を実施。自分の行動を振り返りながら正しい交通ルールを確認することができた。また、寺子屋ごはんのキャラクター「ごはんちゃん」をモチーフにした反射材(リフレクター)シールを製作し、参加者へ配布した。反射材の効果や活用例も紹介された。地域で登下校の見守りをしている参加者から、地域の道路事情を踏まえたお話も聞くことができた。

感想・参加者の様子等：
▶シールは大好評で、その場で靴に貼る子どももいました。暗い道で子供の安全を守り、寺子屋ごはんの周知にもつながりそうです。
▶今回お母さんやサポーターなど大人も多く参加していたので、今後大人の自転車の乗り方の講話もよいかもかもしれません。

サポートオフィスより：
オリジナル反射材シールが可愛く出来上がり、活動に愛着のある人たちが進んで活用している様子が見られました。今後、反射シールをきっかけに、寺子屋ごはんの活動を知ってもらうことにも繋がっていく点が、プラスON事業らしいと思います。



5 防犯

「STOP！特殊詐欺自分の身は自分で守るスマホ編」

団体名：オンラインサポーターまちだ	プラスON 特殊詐欺対策、LINEにおける 取り組み：注意点
開催日：2023/10/20(金)	参加者：17名

実施概要：

前半は、町田警察生活安全課の担当より、スマホやネットに関わる特殊詐欺について。町田市防災安全部生活安全課の担当の方より、実際にかかってきた犯人の声や、ひっかかったらどうなるかの劇動画視聴を実施。

後半は、ネットforシニア清水静香氏より、LINE「やってはいけない設定」4選～友だち自動追加、メッセージ受信などについての講座を実施した。

感想・参加者の様子等：

▶参加者の方からいくつも質問があったり、新聞記事の共有があったりと、皆様が積極的に講座に参加していたのが印象的だった。
▶参加して下さった皆様の満足度は高く、内容も充実していて、よかった。次回があれば、周知を十分にしたい。

サポートオフィスより：

シニアのネット生活をサポートしているオンラインサポーターの皆さんに講話を聞いていただくことで、サポート活動時の詐欺防止・啓発に繋がると感じました。LINEの注意点は、初めて聞く内容も多く、広く知っていただけると良いと思います。



6 交通安全

モビあるきで交通安全

団体名：まちだみんなのモビリティネット	プラスON まちあるきイベントの出発前に交通安全ミニ講話
開催日：2023/10/21(土)	参加者：26名

実施概要：

「モビあるき」は、シニア・車いすユーザー・子育て世代問わず、誰もが行きたいところにアクセスできることを目指したサイトの情報収集と多世代交流を目的としたイベント。薬師池公園四季彩の社西園を起点にし、バス停の写真を撮りスマートフォンからサイトに投稿していく。スタッフに向け実施した事前の交通安全講座を録画し、当日出発前の参加者にも動画視聴してもらった。斜め横断やながらスマホへの注意喚起ができた。反射材の記念品を配布した。

感想・参加者の様子等：

▶講習の後にまち歩きがあったので、イメージが湧いて良かった。ながらスマホを今一度気を付けるきっかけになった。
▶交通安全の観点から移動について皆で再考できたのは、新たな発見で、移動支援と交通安全の親和性を感じた。

サポートオフィスより：

まち歩きをする直前に注意点を視聴していただいたことで、意識を向ける方が多く、実践的な取り組みになりました。「移動」がテーマのまちモビの活動は交通安全と親和性が高く、今後のイベント等でも協働ができるのではないかと期待されます。



7 防犯

特殊詐欺攻略セミナー・特殊詐欺防止記事入りパンフレット作成

団体名：「陽だまりカフェ」運営ボランティア	プラスON 定期開催のイベント時に特殊詐欺セミナーを実施
開催日：2023/10/22(日)	参加者：20名（陽だまりカフェ実行委員会ほか）

実施概要：

月1回開催されている認知症カフェ（認知症があってもなくても、地域の方も、専門職の方も一緒に時を過ごす）のイベントの一つとして特殊詐欺攻略セミナーを実施。実行委員対象で企画されたセミナーであったが、最終的には受講希望者が増え、日頃から近隣で相談相手として活動されている方だけでなく、一般の地域住民も参加して下さるセミナーとなった。外の掲示板にも特殊詐欺についての情報掲示を実施した。また、陽だまりカフェの紹介と特殊詐欺防止の記事を入れたパンフレットも作成した。

感想・参加者の様子等：

▶ちょっと相談ができる関係を日頃から作っておくことの大切さを改めて痛感するセミナーであった。地域全体で見守る・見守られる関係をどう構築していくか。どういったきっかけがあれば良いのか。今後も検討し、今までの様に駐在さんにも協力していただきながら実施していきたい。

サポートオフィスより：

地域の居場所としての役割を担っている陽だまりカフェさん。日ごろから多種多様な企画を実施されており、「ちょっと相談できる関係」づくりに向けて積極的に取り組まれていると感じました。



8 防犯

ツナガルナルセ青空市×防犯謎解きクイズ

団体名：TENT成瀬	プラスON 子ども向け「なぞときクイズ」を防犯テーマで実施
開催日：2023/11/4(土)	参加者：子ども86名とその保護者

実施概要：

成瀬駅前の広場で定期開催されるイベント「ツナガルナルセ」では子ども向けの「なぞときクイズ」を実施している。11月の「なぞときクイズ」では、防犯クイズを導入し、参加する子どもに防犯知識を啓発した。「子ども110番」の看板を設置している商店などにクイズを設置し、不審者に遭遇した時に逃げ込める施設を知ってもらうきっかけを作った。また、映像教材や啓発標語の会場内掲示も行った。全てのクイズを解き終えた子どもに、防犯ホイッスルや「いかのおすし」の標語が書かれた絆創膏などをプレゼントした。

感想・参加者の様子等：

▶防犯グッズの景品獲得を目指し、親子・子ども同士が内容を確認し合いながらクイズを解く姿が印象的だった。
▶今後の展望として、本企画内容を参考にしながら別の安全教育のテーマでも啓発活動を行ってきたい。

サポートオフィスより：

交通安全と同様に、工夫を凝らした内容で子どもたちが楽しんでいる様子が印象的でした。実際に「子ども110番」の看板を見るきっかけづくりや、ホイッスルのクイズとプレゼントの連動など、知識と体験の結びつきが作れる点も謎解きクイズの良さだと感じました。



団体名：南大谷小学校父母と教職員の会	プラスON 例年のウォークの前に、いか取り組み：のおすし紙芝居をプラスON
開催日：2023/11/8(水)	参加者：44名(子ども28名、保護者14名、教員1名、警察官1名)

実施概要：

子ども110番の家と「いかのおすし」についてスライド上映を実施。危険が迫っている時には、笛を吹いたり、防犯ブザーを使用することを説明し、実際に笛を配布して鳴らす練習を行った。また、防犯クイズも実施した。その後、2チームに分かれ、学校の周囲の110番の家を探すウォークを行った。110番の家を見つけるごとに台紙にシールを貼った。途中危険箇所や夕方薄暗いところ、人通りの少ない場所等を確認し、防犯の為にどのようにしたらよいかを説明した。交通安全の面も同時に注意喚起を行うことができた。反射材ベストを着用してウォークを実施した。記念品にいかのおすし絆創膏や駄菓子等を配布した。

感想・参加者の様子等：

▶児童や保護者が110番の家に興味・関心を持ち、通学路の安全に対して考えられた。

サポートオフィスより：

事前に丁寧に110番の家にイベント周知を行ったことで、当日声掛けがあったり、110番の家の住民の方の啓発にも繋がったとのことでした。通学路のウォークは防犯・交通安全の両方の要素があり、直接子どもたちと保護者に意識していただける効果的な取り組みだと感じました。



町田国際交流 団体名：センター にほんご教室	プラスON にほんご教室開催時に、反射材の配布。
開催日：2023/11/10(金)、14(火)、17(金)	参加者：各クラス15名程

実施概要：

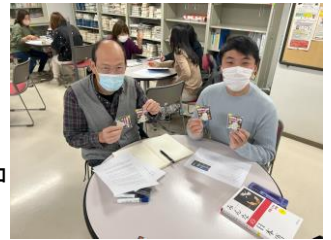
定期開催されている外国籍の方向けの「にほんご教室」の中で、反射材の効果や着用方法について記載されているチラシを配布。併せて反射材キーホルダと反射靴シールをプレゼントした。チラシは外国人の方にも伝わりやすいよう「やさしい日本語」でも作成し、英語と2パターンを配布した。反射材の効果、身に着けると交通事故防止につながることなどの説明も実施した。

感想・参加者の様子等：

▶反射材は想像以上に好評で、家族にも手渡ししてくれるという声もあった。
▶反射材についてご存じでない方もいたので知っていただく機会になった。時間に余裕があるときは、受付で詳しく説明する等の工夫ができればよかった。

サポートオフィスより：

「やさしい日本語」は誰にでもわかりやすい日本語表現のことです。今回、反射材の効果について、やさしい日本語のチラシを作成していただきました。こちらはHPよりダウンロードして使用していただくことができます。



団体名：鎌倉古道・歴史遺産の会	プラスON 主要メンバー事前勉強会、取り組み：イベント当日ミニ講座実施
開催日：2023/10/6(金)、12/9(土)	参加者：43名

実施概要：

事前に主要メンバー5名が市民生活安全課より「ながら防犯」活動および特殊詐欺対策についての講話を受講。その内容を受け、12月のウォークイベント時、開始前のオリエンテーションにて、団体メンバーより防犯ミニトークとして「ながら防犯始めませんか」のチラシを使用して参加者に講習を15分実施した。また、ウォーク時は、会員5名が「ながら防犯のスローガン」を反射材付きの交通安全ベストに装着・着用して参加者の皆さんに啓発した。

感想・参加者の様子等：

▶「ながら防犯」について、初めて知った方が多く、ふだんの日常の中で「防犯の意識」の大事さを理解してもらうことができた。
▶記念品として配布した「反射材のベルトのバック」が好評で、夜道の犬との散歩やウォーキング時に着用すると声が多く聞くことが出来た。

サポートオフィスより：

日ごろからウォークしているアクティブな参加者に向けて「ながら防犯」活動をご紹介していただきました。アンケートでも講話の内容が好評でした。また、昨年プラスONで購入した反射ベストを活用して交通安全啓発もしていただきました。



団体名：NPO法人コミュニティフレンド	プラスON 悠々学園の講座の一コマとして企画、外に向けても告知
開催日：2023/12/11(月)、14(木)	参加者：32名

実施概要：

高齢者(70代~90代)の受講者が、あらためて交通ルールを確認した。歩行者でも過失責任があることなどを知ることができた。また反射材についての効果を知ることができた。特殊詐欺については、電話での特殊詐欺のビデオを見て、電話にはすぐ出ないこと、行政や銀行は直接カードの回収や集金は絶対しないことを勉強した。参加記念品として、反射材と特殊詐欺トイレットペーパーを配布した。

感想・参加者の様子等：

▶詐欺の手口のビデオが印象に残ったという感想があった。
▶NTTの詐欺対策無料サービスについて質問があった。

サポートオフィスより：

交通安全と特殊詐欺についてを1時間ほどコンパクトにお伝えしました。時間が限られていた分、要点をお話しできたように思います。詐欺の手口のビデオはわかりやすく、皆さん集中してご覧になっていました。



団体名：高齢者共生の会	プラスON 会議開催日にセミナー実施。 取り組み：啓発パンフレットを作成配布。
開催日：2023/12/12(火)	参加者：30名(会員他、口コミやポスター等を見た一般参加者含む)

実施概要：

成瀬台ゆりの木会館にてセミナーを開催。冒頭、成瀬台交番巡査部長より、「このところ、成瀬台地区で悪質業者が横行していること、特殊詐欺が発生していること」など地域の具体的な状況について話がされ、参加者に緊張感が走った。その後、特殊詐欺の手口について映像や音声を変えた具体的かつリアルティをもって報告され、大変役立つとともに緊張感の漂う有意義なセミナーであった。終了後も参加者から質問がいくつも挙がり、関心の高さがうかがえた。本セミナーを元に特殊詐欺啓発記事を、会報誌に掲載し4500世帯へ配布。

感想・参加者の様子等：

▶当地区は都内でも特に高齢化率が高く、特殊詐欺や悪質業者に狙われやすい地域であり、高齢者を支援する協会としては、「安全で安心なまちづくり」に向けて、今後とも継続的に今回のようなセミナーを実施していきたいと考える。

サポートオフィスより：

巡査部長から地域の実態がお話されると、一層リアルティが湧きました。このような機会にお話ししたり顔見知りになると、相談しやすい関係が作れると感じました。一般参加者もいたとのこと、高齢者共生の会の認知にも繋がれば嬉しいです。



団体名：図師町内会	プラスON 町内会の防犯対策事業の一環 取り組み：としてセミナー形式で開催
開催日：2023/12/16(土)	参加者：25名(町内会、婦人会、寿会(老人会)等)

実施概要：

地域防犯の専門家である小宮信夫教授のセミナーをオンライン形式で開催。具体的な自分たちの住んでいる場所を題材として注意点の説明をさせていただいたので、皆が本気になって聞くことができた。自分たちの住んでいる地域・場所をあらためて見直し、「犯罪危険箇所」として意識して捉える見方、考え方が備わった。日頃の中で皆が少しずつ注意すれば、いたましい事故や事件を未然に防ぐことができることを確認できたので、今後町内会活動の中に取り入れ、安心して暮らせる図師町をみんなで作っていききたいと思う。

感想・参加者の様子等：

▶地域防犯パトロールをする上での効果的な方法(ホットスポットパトロール)についても知ることができた。
▶子ども会30~40代の人たちにも聞いてほしかったが、用事で来れなかったことが残念だった。

サポートオフィスより：

会場のスクリーンにGoogleマップを投影し、実際の地域の危険箇所を見回るフィールドワークシュミレーションがみなさんの印象に残ったようでした。地域でホットスポットパトロールをするためには何から取り組めばいいでしょうか？等、具体的な質問も挙がりました。



団体名：NPO法人ゆどうふ	プラスON 自転車を使用する事業に関わるサポーター・若者向け講習
開催日：2023/12/21(木)	参加者：3名(職員、ワーク参加者)

実施概要：

「わらしべワークプロジェクト」という地域で生じた日常的な困りごとを若者と同行サポーターとで解決するプログラムにて、自転車を使用。安全周知のために講座を企画し、運営サポーターおよび若者3名が参加しました。すぐに実践に活かせるような内容で受講できてとてもよかったです。今までワークに向かう際に歩行者との兼ね合い等で運転に迷いがあった所が解消されました。また、反射材の効果や使用方法などを聞きました。今後自転車を使う方に本日の内容をお伝えできたらと思います。

感想・参加者の様子等：

▶記念品のサコッシュは丁度ワークに活用できそうなので早速使わせていただきます。
▶正確な知識がなかったので、改めて説明を受けることで、業務中だけでなく日常生活でも活かすことができそうです。

サポートオフィスより：

今後継続していく「わらしべワーク」の事業。自転車を使用する利用者へ、スタッフの皆さんから注意点を説明いただくことで、啓発が拡がるのが期待されます。少人数だったため、随時質問や意見交換などしながら進められました。



団体名：南大谷子どもクラブMOこもこ	プラスON 定期開催の交通安全イベント 取り組み：にワークショップをプラスON
開催日：2023/12/26(火)	参加者：合計54名(子ども40名+保護者14名)

実施概要：

子どもが自由に動ける冬休みと年末年始の短い時期で、子どもも大人も安全に児童館や周辺施設・公園などの遊び場への行き来ができるよう企画。交通安全のルールを再確認し、意識を高めてもらうために、講話+安全グッズ(反射材缶バッヂ)製作のイベントを開催した。講話では歩行時・自転車時の注意点や反射材の効果・着用例などの話があった。缶バッヂは反射材シートを丸型に切った4色の台紙の中から好きな色を選び、油性マジックで絵柄を書き制作した。

感想・参加者の様子等：

▶乳幼児親子から小学生まで、当館を普段利用している方々の参加があった。とても分かりやすい交通安全のお話に熱心に耳を傾けて、交通安全のおさらいをすることが出来ていた。
▶オリジナル缶バッヂも、各々デザインしたものが全員完成し、満足していた。

サポートオフィスより：

自由な雰囲気の中で、真剣に話を聞いてくれる子どもたちが印象的でした。反射缶バッヂは大人気で、さっそく着用する姿も見られました。今回の取り組みのように、楽しい企画とあわせることによって、より多くの子どもたちと保護者に安全のための情報を届けることができると感じました。

